

# 注射器材廃棄容器 [キーパー 3 モンキー]

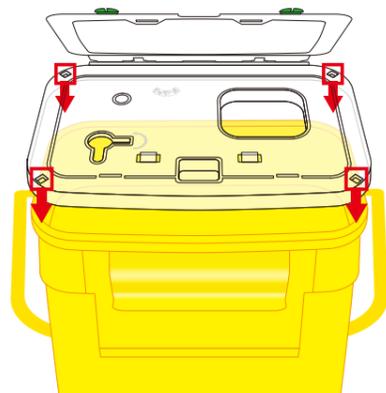
## 針刺しを防ぐために

## すべての方の安全のために

注射器材廃棄容器は、感染の危険のある注射針を廃棄する容器です。誤った使い方をすると次の使用者も危険です。ご使用に際しては、十分に注意して正しくお使いください。

### ■ ご使用になる前に

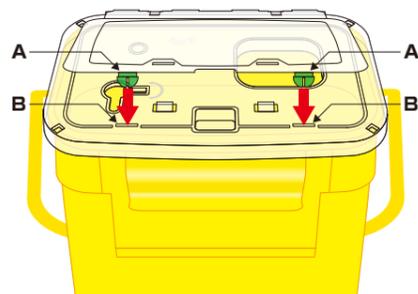
フタの向きは、どちらでも付けられます。先に使いやすい向きを決め、平らな所でしっかりと本体にはめ込んで下さい。



### ■ 最終処理に出す時には

製品ラベルや容器内ラベルのFULLラインになったときです。

- 1 ① フタのツメ(グリーン部)2ヶ所 A を90度に折り曲げます。
- 2 ② 差し込み口 B にしっかりと差し込み完全にロックをします。(フタが開かない状態になります)



### ■ ワゴンへの掛け方

容器保護プレート上の山型クリップ部分を柵にしっかりと掛けて下さい。



取付イメージ

- ワゴンへの付け外しは、必ず容器のフタを閉めて両手でしっかりと持って行って下さい。(取っ手を引っ張って外さないで下さい。)
- 直径1cm以上の柵へ無理に掛けしないで下さい。
- 柵と背もたれ等がある安定した部分に掛けて下さい。
- 容器を取り付けたワゴンの運転には、周りに十分注意して下さい。

■ 容器は自施設で決められた位置に掛けてお使い下さい。

インスリン注射の針刺し対策に!

### ■ リキャップホール®

インスリン注射などに使うペン型注入器の針にキャップをする機能です。

ペンニードル®プラスの場合



針ケースを①リキャップホールに立てます。(保護シールは完全に取り外して下さい。)

② 注射が終わったら注入器をまっすぐ針ケースに入れます。

③ 注入器を引き上げるとキャップ完了です。

④ 針ケースを指で保持し、注入器本体を反時計方向に回してから取り外します。



2回転半以上回して下さい。

⑤ 針ケースごと廃棄して下さい。

**投入口** 抜針後、そのまま投入して下さい。

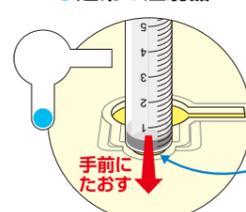
20mlの注射器も、針を外さずそのまま投入できます。翼状針、留置針、採血ホルダーなども投入できます。

投入後はパチンと音がするようにフタを閉めて下さい。(何度でも開閉できます。)



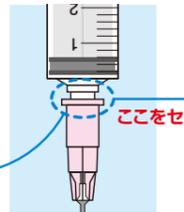
### ■ 針外し機能 (病室などで注射器ごと廃棄できない時の、緊急的な機能としても活用できます。)

● 通常の注射器



注射器をセットして「たおす」だけで注射針が容器内に投入されます。  
\*引っ掛けて引き抜くものではありません。

● 中口タイプ



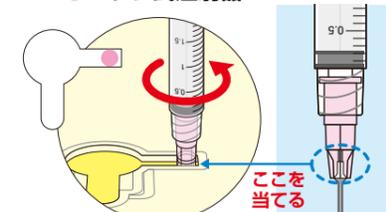
ここをセット

● 横口タイプ



こちら側を手前にして「たおす」

● ロック式注射器



ここを当てる

注射針の針元を型に当てて、左に回すと簡単に外れ、容器内に投入できます。

### 取扱上の注意

- 破損、変形した物は使わないで下さい。
- 使った後は、必ずフタをして下さい。
- 容器を足下に置かないで下さい。
- 注射針などを無理に押し込まないで下さい。
- 使用限度のFULLラインは必ず守ってお使い下さい。
- 投入口に指などを入れないで下さい。
- 液体は入れないで下さい。
- オートクレーブなどの高温処理はしないで下さい。

- 完全にロックされた製品のフタを無理に開けて使わないで下さい。
- 廃棄物を別の容器に移し替えたりしないでください。
- 最終処理時、必ずフタが完全にロックされている事を確認して下さい。

最終処理は、自施設の感染性廃棄物(鋭利物)の処理規定に基づいた方法で処理してください。

特許第5769335号 第4750146号 実用新案登録 第3150317号 第3201699号



製造元/有限会社 グーツール

TEL.072-627-5518 FAX.0120-881-768

e-mail:office@goodtool.biz ホームページ www.goodtool.biz